



HiLook シリーズ スマートハイブリッドライト 弾丸型& 旋回型カメラ ユーザーマニュアル

ユーザーマニュアル

当社製品をご購入いただきありがとうございます。
ご質問やご要望がございましたら、お気軽に販売店までお問い合わせください。
本マニュアルは下記モデルに適用されます：

タイプ	モデル	注記
タイプⅠカメラ	THC-B227-LMS	200 万画素モデル
	THC-B257-LMS	3K モデル
タイプⅡカメラ	THC-B127-LPS	2MP モデル
	THC-B127-LMS	
	THC-B157-LPS	3K モデル
	THC-B157-LMS	
タイプⅢカメラ	THC-T127-LPS	2MP モデル
	THC-T157-LPS	3K モデル
タイプⅣカメラ	THC-T127-LMS	2MP モデル
	THC-T157-LMS	3K モデル
タイプⅤカメラ	THC-T227-LMS	2MP モデル
	THC-T257-LMS	3K モデル

本マニュアルには技術的な誤りや印刷上の誤りが含まれる可能性があり、内容は予告なく変更される場合があります。更新内容は本マニュアルの新バージョンに追加されます。マニュアルに記載されている製品や手順については、随時改善または更新を行います。

01000020241009

この文書について

- 本ドキュメントには、製品の使用および管理に関する指示が含まれています。以下に示す写真、図表、画像およびその他すべての情報は、説明および解説のみを目的としています。
- 本ドキュメントに記載されている情報は、ファームウェアの更新その他の理由により予告なく変更される場合があります。最新版は Hikvision ウェブサイト (<https://www.hikvision.com>) でご確認ください。別途合意がない限り、杭州海康威視数字技術有限公司およびその関連会社（以下「Hikvision」）は、明示的または黙示的を問わず一切の保証を行いません。
- 本製品をサポートする訓練を受けた専門家の指導と支援のもとで、本ドキュメントをご利用ください。

本製品について

本製品は、購入された国または地域でのみアフターサービスサポートを受けることができます。

知的財産権の承認

- Hikvision は、本書に記載された製品に組み込まれた技術に関する著作権および/または特許を所有しており、これには第三者から取得したライセンスが含まれる場合があります。
- 本文書のテキスト、写真、グラフィックなど、その一部はすべて Hikvision に帰属します。書面による許可なく、本文書のいかなる部分も、その全部または一部を、いかなる手段によっても抜粋、複製、翻訳、または変更することはできません。
- Hikvision およびその他の Hikvision の商標およびロゴは、さまざまな法域における Hikvision の所有物です。
- 記載されているその他の商標およびロゴは、それぞれの所有者に帰属します。

法的免責事項

- 適用される法律で許容される最大限の範囲において、本ドキュメントおよび記載されている製品（そのハードウェア、ソフトウェア、ファームウェアを含む）は、「現状有姿のまま」かつ「すべての欠陥およびエラーを含む」状態で提供されます。HIKVISION は、商品性、満足のいく品質、特定目的への適合性を含むがこれらに限定されない、明示的または黙示的な保証を行いません。本製品のご利用はお客様ご自身の責任において行ってください。いかなる場合においても、HIKVISION は、特別損害、結果的損害、付随的損害、間接損害（事業利益の損失、事業中断、データ損失、システムの破損、または文書の損失を含むがこれらに限定されない損害について、契約違反、不法行為（過失を含む）、製造物責任その他のいかなる法的根拠に基づくものであっても、本製品の使用に関連して生じた場合、たとえ HIKVISION がそのような損害または損失の可能性について事前に通知を受けていた場合であっても、一切の責任を負いません。
- お客様は、インターネットの本質に内在するセキュリティリスクを認識し、サイバー攻撃、ハッカー攻撃、ウイルス感染、その他のインターネットセキュリティリスクに起因する異常動作、プライバシー漏洩、その他の損害について一切の責任を負いません。ただし、必要に応じてタイムリーな技術サポートを提供します。
- お客様は、本製品を適用される全ての法令に準拠して使用することに同意し、お客様の使用が適用される法令に適合することを確保する責任は、お客様が単独で 負うものとします。特に、お客様は、パブリシティ権、知的財産権、データ保護およびその他のプライバシー権を含むがこれらに限定されない、第三者の権利を侵害し

ない方法で本製品を使用することについて責任を負います。お客様は、大量破壊兵器の開発または製造、化学兵器または生物兵器の開発または製造、核爆発物または安全でない核燃料サイクルに関連する文脈における活動、または人権侵害を支援する活動。

- 本文書と適用される法律との間に矛盾が生じた場合、後者が優先する。

© 杭州海康威視デジタル技术有限公司。無断複写・転載を禁じます。

規制情報

FCC 情報

コンプライアンス責任者の明示的な承認を得ずに変更または改造を行うと、本機器の操作権限が無効になる可能性があることにご留意ください。

FCC 適合性: 本機器は、FCC 規則第 15 部に準拠し、クラス A デジタル機器の制限値に適合することが試験により確認されています。これらの制限は、商業環境で機器を操作する際の有害な干渉に対する合理的な保護を提供するように設計されています。本機器は無線周波エネルギーを発生・使用し、放射する可能性があり、取扱説明書に従って設置・使用されない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。住宅地域での本機器の操作は有害な干渉を引き起こす可能性があり、その場合、ユーザーは自己負担で干渉を修正する必要があります。

FCC 条件

本装置は FCC 規則第 15 部に準拠しています。動作には以下の 2 条件が適用されます:

1. 本装置は有害な干渉を引き起こしてはならない。
2. 本装置は、受信したあらゆる妨害（意図しない動作を引き起こす可能性のある妨害を含む）を受け入れなければなりません。

EU 適合宣言



本製品および付属品（該当する場合）には「CE」マークが付けられており、低電圧指令 2014/35/EU、EMC 指令 2014/30/EU、RoHS 指令 2011/65/EU に

記載された適用される欧州調和規格に準拠しています。



2012/19/EU (WEEE 指令): このマークが付いた製品は、欧州連合において一般廃棄物として廃棄できません。適切なリサイクルのため、同等の新品機器購入時に販売店へ返却するか、指定回収拠点で処分してください。詳細は

www.recyclethis.info をご参照ください。

2006/66/EC (電池指令): 本製品には電池が含まれており、欧州連合 (EU) 域内では一般廃棄物として廃棄できません。電池の詳細情報は製品文書をご参照ください。電池にはこの記号が刻印されており、カドミウム (Cd)、鉛 (Pb)、水銀 (Hg)

を示す文字が含まれる場合があります。適切なリサイクルのため、電池は販売店または指定回収拠点へ返却してください。詳細は以下を参照:

www.recyclethis.info。

カナダ産業省 ICES-003 準拠

本装置は CAN ICES-3(A)/NMB-3(A) 規格要件を満たしています。

警告

本製品はクラス A 製品です。家庭環境では電波干渉を引き起こす可能性があり、その場合、ユーザーは適切な対策を取る必要があります。

安全上の注意

これらの指示は、危険や財産の損失を避けるために、ユーザーが製品を正しく使用できるようにすることを目的としています。

注意事項は「警告」と「注意」に分けて記載します。

警告: 警告を無視した場合、重傷または死亡事故が発生する可能性があります。

注意: いずれかの注意を怠ると、負傷または機器の損傷が発生する可能性があります。

	
警告: 重傷または死亡事故を防ぐため、以下の安全対策に従ってください。	注意: 潜在的な負傷や物的損害を防ぐため、以下の注意事項を遵守してください。



警告

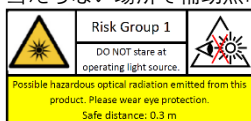
- 本装置の使用にあたっては、国および地域の電気安全規制を厳守してください。
- 入力電圧は、IEC60950-1 規格および IEC62368-1 規格に基づく SELV（安全超低電圧）および 12VDC の限定電源の両方に適合している必要があります。詳細については技術仕様を参照してください。
- コンセントは機器の近くに設置し、容易にアクセスできる状態にしておくこと。
- 建物の電気設備には、全極電源スイッチを組み込むこと。
- 過負荷による過熱や火災の危険を避けるため、複数の機器を 1 つの電源アダプターに接続しないでください。
- プラグが電源ソケットに確実に接続されていることを確認してください。
- 壁面取り付けまたは天井取り付けを採用する場合は、装置が確実に固定されていることを確認してください。
- 装置から煙、異臭、異音が発生した場合は、直ちに電源を切り、電源コードを抜いてからサービスセンターに連絡してください。
- 専門知識のない者がカメラを分解しようとししないでください。



注意事項

- 点灯したろうそくなどの裸火を装置の上に置かないでください。
- 本マニュアルの指示に従って装置を設置してください。
- 怪我を防ぐため、本機器は設置説明書に従い壁に確実に固定してください。
- カメラを落下させたり、物理的な衝撃を与えないでください。
- センサーモジュールに指で触れないでください。
- カメラを極端に高温、低温（動作温度は -40°C から 60°C）、ほこりや湿気の多い場所に置いたり、強い電磁放射にさらしたりしないでください。
- 清掃が必要な場合は、少量のエタノールを含ませた清潔な布で優しく拭いてください。

- カメラを太陽や極端に明るい場所に向けてはいけません。
- レーザー光線によりセンサーが焼損する恐れがあります。レーザー機器を使用する際は、センサー表面がレーザー光線に晒されないようにしてください。
- 本装置を強い電磁波や極端な高温・低温、ほこりや湿気の多い環境にさらさないでください。
- 熱がこもらないよう、動作環境は十分に換気してください。
- 非防水デバイスは使用中、液体に接触させないでください。
- 輸送中は、カメラを元の梱包材、または同等の材質の梱包材で梱包してください。
- 200 mm の距離における光線はリスクグループ 1 (RG1) に分類されます。本製品からは危険な光放射が放出される可能性があります。
- 作動中の光源を直視しないでください。目に有害な場合があります。
- 装置の設置または保守時には、適切な保護眼鏡を着用するか、安全な距離 (0.3 m) または光が直接当たらない場所で補助照明を点灯してください。



1 はじめに

1.1 製品の特徴

主な特徴は以下の通りです：

- 高性能 CMOS センサー
- 設定可能なパラメータを備えた OSD メニュー
- スマートライト
- 3 軸調整
- 赤外線と白色光を備えたハイブリッド補助照明

1.2 の概要

1.2.1 タイプ I カメラの概要

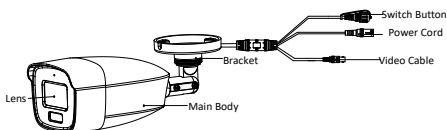


Figure 1-1 タイプ I カメラの概要

注:

スイッチボタンを 5 秒間長押しすると、ビデオ出力が切り替わります。TVI、AHD、CVI、CVBS の 4 種類のビデオ出力が利用可能です。

1.2.2 タイプ II カメラの概要

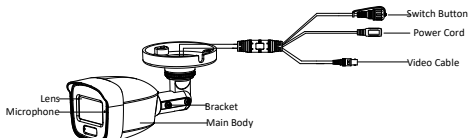


Figure 1-2 タイプ II カメラの概要

注

スイッチボタンを 5 秒間長押しすると、ビデオ出力が切り替わります。利用可能なビデオ出力は 4 種類：TVI、AHD、CVI、CVBS。

1.2.3 タイプの概要 II カメラの

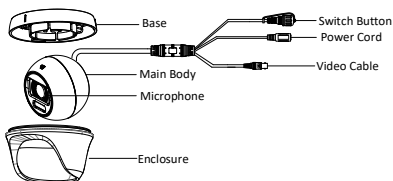


Figure 1-3 タイプ III カメラの概要

注

スイッチボタンを 5 秒間長押しするとビデオ出力が切り替わります。利用可能なビデオ出力は 4 種類：TVI、AHD、CVI、CVBS です。

1.2.4 タイプカメラの概要 V カメラ

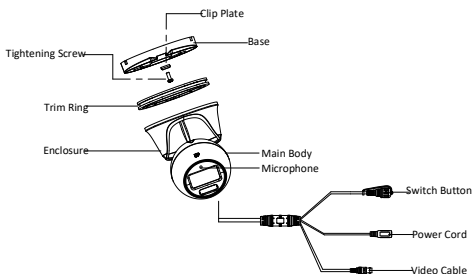


Figure 1-4 タイプ IV カメラの概要

注

スイッチボタンを 5 秒間長押しすると、ビデオ出力が切り替わります。TVI、AHD、CVI、CVBS の 4 種類のビデオ出力が利用可能です。

1.2.5 タイプ V カメラの概要

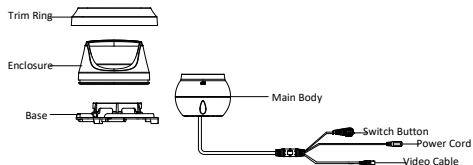


Figure 1-5 タイプ V カメラの概要

注

スイッチボタンを 5 秒間長押しすると、ビデオ出力が切り替わります。利用可能なビデオ出力は 4 種類：TVI、AHD、CVI、CVBS です。

2 設置

開始前に

- パッケージ内のデバイスが良好な状態であり、の組み立て部品がすべて揃っていることを確認してください。
- 設置中は関連機器の電源がすべてオフになっていることを確認してください。
- 設置環境について製品の仕様を確認してください。
- 電源がお客様の電源出力と適合しているかどうかを確認し、損傷を防いでください。
- 壁がカメラとマウントの重量の3倍に耐えられる強度があることを確認してください。
- 製品が正常に動作しない場合は、販売店または最寄りのサービスセンターにお問い合わせください。修理やメンテナンスのためにカメラを分解しないでください。

2.1 タイプ I および II カメラの取り付け

2.1.1 ジャンクションボックスなしの天井/壁取り付け

天井取り付けと壁取り付けは類似しています。以下の手順は天井取り付けを例として説明します。

手順:

1. 付属のドリルテンプレートを設置位置に貼り付けます。
2. (オプション) コンクリート天井の場合、5.5mm ドリルでネジ穴を開け、付属の壁プラグを挿入します。
3. (任意) ケーブルを天井から配線する場合、ケーブル穴を開けます。
4. 付属の PA4×25 ネジ3本でカメラを天井に固定します。

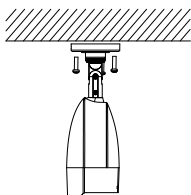


Figure 2-1 カメラを天井に固定する

5. ケーブルを接続します。
6. カメラの電源を入れ、下図に従って視野角を調整します。

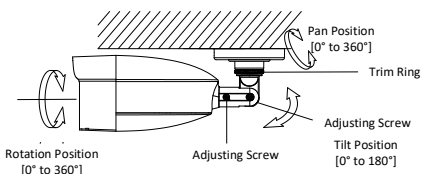


Figure 2-2 3 軸調整

2.1.2 ジャンクションボックスを使用した天井/壁取り付け

作業開始前に:

- 事前にジャンクションボックスを購入する必要があります。
- 天井取り付けと壁取り付けは類似しています。以下の手順では壁取り付けを例に説明します。

手順:

1. 設置位置にジャンクションボックス用ドリルテンプレートを貼り付けます。
2. (オプション) コンクリート壁の場合、5.5mmドリルでネジ穴を開け、付属の壁プラグを挿入します。
3. (任意) ケーブルを壁を通して配線する場合、ケーブル穴を開けます。
4. ジャンクションボックスを分解します。
5. カメラを3本のPM4ネジ(×10)でジャンクションボックスカバー()に固定します。

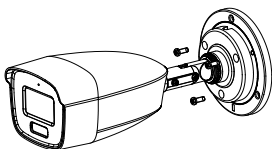


Figure 2-3 カメラをジャンクションボックスカバーに固定

6. 付属の PA4×25 ネジ 3 本で、ジャンクションボックス本体を壁に固定します。

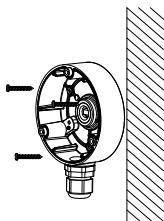


Figure 2-4 壁へのジャンクションボックスの固定

7. ケーブルをジャンクションボックスの底部ケーブル穴または側面ケーブル穴に通し、接続します。
8. PM3×16 L6 ネジ 3 本でジャンクションボックスカバーを本体に取り付けます。

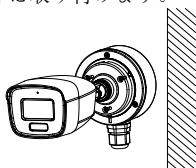


Figure 2-5 カバーを本体に取り付ける

9. 2.1.1 ジャンクションボックスなしの天井/壁取り付けのステップ 6 を参照して、取り付けを完了してください。

2.2 タイプ III カメラの取り付け

2.2.3 ジャンクションボックスなし天井取付

手順:

1. カメラを回転させ、マークと切り欠きを合わせます。切り欠きにコインまたは他の工具を挿入し、押し下げてカメラを分解します。

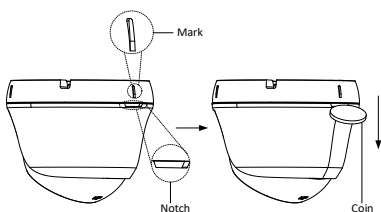


Figure 2-6 カメラの分解

2. 付属のドリルテンプレートをカメラ設置予定位置に貼り付けます。
3. (オプション) コンクリート天井の場合、5.5mmドリルでネジ穴を開け、付属の壁プラグを挿入します。
4. (オプション) ケーブルを天井から通す場合、ケーブル穴を開けます。
5. 付属のPA4×25 ネジ2本でベースを天井に固定します。

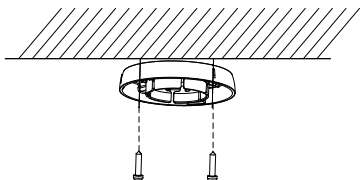


Figure 2-7 ベースを天井に固定する

6. ノッチをマークに合わせ、カメラバックをベースに取り付けて固定してください。

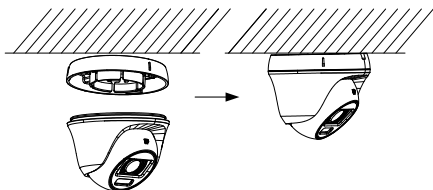


Figure 2-8 カメラバックの取り付け

7. ケーブルを接続します。
8. カメラの電源を入れ、モニターに映る映像が最適な角度から撮影されているか確認します。そうでない場合は、下図に従ってカメラを調整してください。

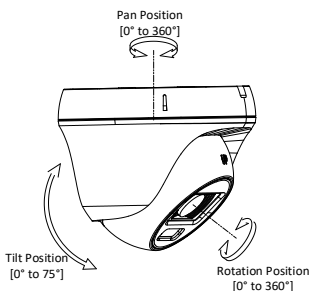


Figure 2-9 3 軸調整

- 1). エンクロージャーを回転させてパン位置を調整します [0°~360°]。

- 2). 本体を上下に移動してチルト位置を調整します [0°~75°]。
- 3). 本体を回転させて回転位置を調整します [0°~360°]。

2.2.4 ジャンクションボックス付き天井取付

開始前に:

ジャンクションボックスを事前に購入する必要があります。

手順:

1. ネジを緩めてジャンクションボックスを分解します。
2. カメラを設置したい場所に、接続ボックス用のドリルテンプレートを貼り付けます。
3. (オプション) コンクリート天井の場合、5.5mmドリルでネジ穴を開け、付属の壁プラグを挿入します。
4. (任意) ケーブルを天井から通す場合は、ケーブル穴を開けます。
5. 付属の PA4×25 ネジ 4 本でジャンクションボックス本体を天井に固定します。

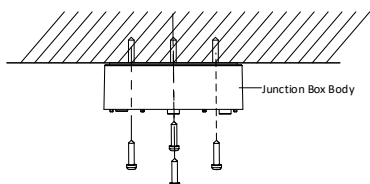


Figure 2-10 接続ボックス本体の固定

6. ケーブルをジャンクションボックスの底面ケーブル穴または側面ケーブル穴に通します。
7. ジャンクションボックスカバーをカメラのベースと組み合わせ、2 本の M4×10 ネジで固定します。

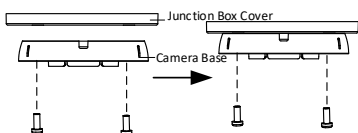


Figure 2-11 ジャンクションボックスカバーとカメラベースの組み合わせ

8. 3 本の M3 ネジでジャンクションボックスカバーをジャンクションボックス本体に固定します。

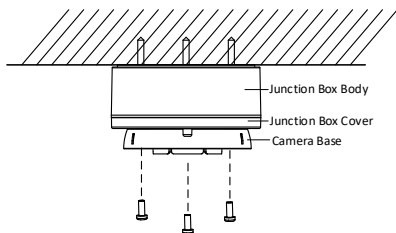


Figure 2-12 ジャンクションボックスカバーとジャンクションボックス本体の組み合わせ

9. 電源コードとビデオケーブルを接続し、ケーブルを再びジャンクションボックス内に戻します。

10.2.2.3 ジャンクションボックスなし天井取付 設置を完了します。

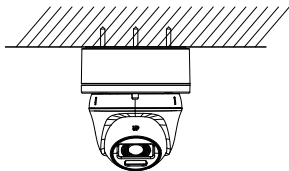


Figure 2-13 取り付けを完了する

2.2.5 壁取り付け

開始前に:

壁掛け用マウントは事前に購入する必要があります。

手順:

1. 壁に取り付け台を設置したい位置に、直径 10mm のネジ穴を開けてください。
2. 壁掛けブラケットを壁に固定するために、M6 拡張ボルトを 4 本使用してください。

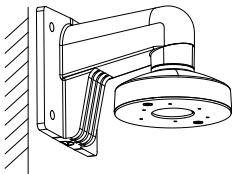


Figure 2-14 壁掛け金具の固定

3. 止めネジを緩めます。
4. カメラの分解については、2.2.3 ジャンクションボックスなし天井取付 のステップ 1 を参照してください。
5. 2 本の M4×10 ネジを使用して、ベースを壁マウントに固定します。

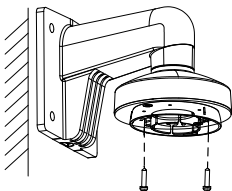


Figure 2-15 ベースを壁マウントに取り付ける

6. 2.2.3 ジャンクションボックスなし天井取付 の手順 6～9 を繰り返して取り付けを完了します。

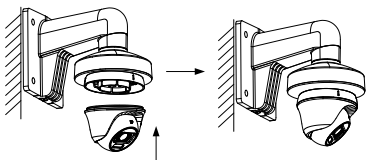


Figure 2-16 取り付けを完了する

2.3 タイプ IV カメラの取り付け

2.3.6 ジャンクションボックスなしの天井取り付け

手順:

1. 付属のドリルテンプレートを設置位置に貼り付けます。
2. (オプション) コンクリート天井の場合、5.5mm ドリルでネジ穴を開け、付属の壁プラグを挿入します。
3. 締め付けネジを緩め、フリッププレートを引き出してカメラを分解します。

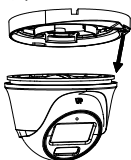


Figure 2-17 カメラの分解

4. カメラを天井に取り付けます。
 - i. **方法 1:**
取り付けプレートを天井に固定します。付属の PA4×25 ネジ 3 本を使用してください。
 - 方法 2:**
5.5 mm ドリルでネジ穴を開け、付属の壁プラグを挿入し、取り付けプレートを 3 本の PA3×25 ネジで天井に固定します。
 - ii. カメラを取り付けプレートに装着します。
 - iii. 下図のようにカメラを回転させ、取り付けプレートにカチツと固定されるまで回します。

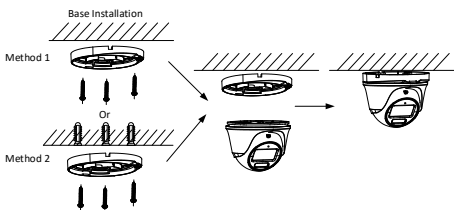


Figure 2-18 カメラを天井に取り付ける

5. ケーブルを接続します。
6. カメラの電源を入れ、下図のように視野角を調整します。

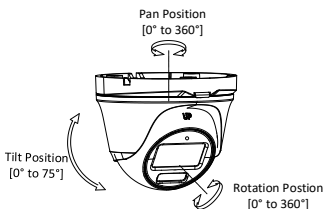


Figure 2-19 3 軸調整

4. ハウジングを回転させてパン位置を調整します [0°~360°]。
5. 本体を上下に動かして傾斜位置を調整します [0°~75°]。
6. 本体を回転させて回転位置を調整します [0°~360°]。

2.3.7 ジャンクションボックス付き天井取付

開始前に:

ジャンクションボックスを事前に購入する必要があります。

手順:

1. ネジを緩めてジャンクションボックスを分解します。
2. 設置位置にジャンクションボックス用ドリルテンプレートを貼り付けます。
3. (オプション) コンクリート天井の場合、5.5mmドリルでネジ穴を開け、付属の壁プラグを挿入します。
4. (オプション) ケーブルを天井から通す場合、ケーブル穴を開けます。
5. 実際の対象物に合わせて、4本のPA4×25ネジでジャンクションボックス本体を天井に固定します。

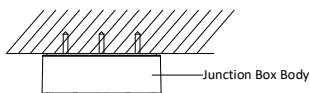


Figure 2-20 接続ボックス本体の固定

6. ジャンクションボックス本体にカバーを取り付けます。

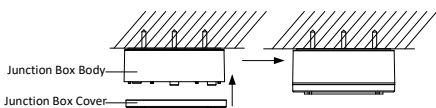


Figure 2-21 ジャンクションボックスカバーを本体に固定

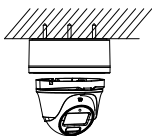


Figure 2-22 設置完了

7. ケーブルをジャンクションボックスの底面ケーブル穴または側面ケーブル穴に通します。
8. 角度を調整して取り付けを完了するには、2.3.6 ジャンクションボックスなしの天井取り付けのステップ 5 を参照してください。

2.3.8 壁取り付け

開始前に:

壁掛け金具を事前に購入する必要があります。

手順:

1. 壁掛け金具を取り付けたい位置に、壁に直径10mmのネジ穴を開けます。
2. 4本のM6拡張ボルトを使用して壁掛け金具を壁に固定します。

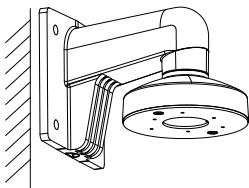


Figure 2-23 壁掛け金具の固定

3. 取り付けプレートを取り付け金具に固定するため、PM4 ネジを 3 本使用します。

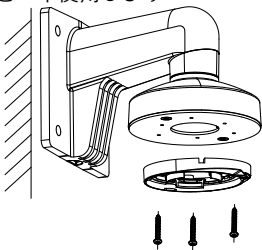


Figure 2-24 取付プレートの固定

4. 取り付けを完了するには、セクション 2.3.6 ジャンクションボックスなしの天井取り付けのステップ 3 から 5 を参照してください。

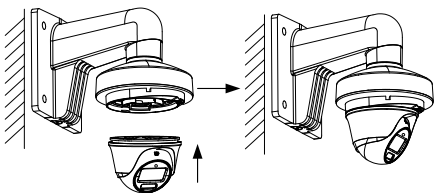


Figure 2-25 取り付けを完了する

2.4 タイプ V カメラの取り付け

2.4.1 天井取り付け

手順:

1. 付属のドリル用テンプレートを設置位置に貼り付けます。
2. (オプション) コンクリート天井の場合、5.5mm ドリルでネジ穴を開け、付属の壁プラグを挿入します。
3. カメラを反時計回りに回転させてトリムリングを外します。

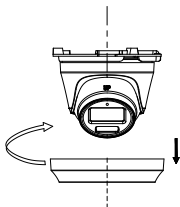


Figure 2-26 トリムリングの取り外し

4. カメラを天井に取り付けます。
 - iv. 付属の PA4×25 ネジ 3 本で取り付けプレートを天井に固定します。
 - v. トリムリングを取り付けます。
 - vi. カメラを下の図のように回転させ、取り付けプレートにカチツと固定されるまで回します。

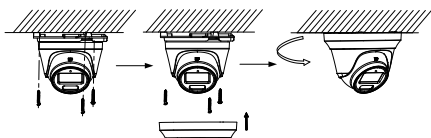


Figure 2-27 カメラを天井に取り付ける

5. ケーブルを接続します。
6. カメラの電源を入れ、下図に従って視野角を調整します。

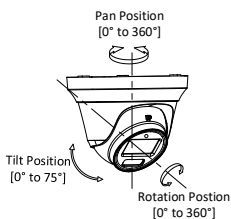


Figure 2-28 3 軸調整

- 1). ハウジングを回転させてパン位置を調整します [0°~360°]。
- 2). 本体を上下に移動させてチルト位置を調整します [0°~75°]。
- 3). 本体を回転させて回転位置を調整します [0°~360°]。

2.4.2 ジャンクションボックスなしの壁取り付け

開始前に:

壁掛け金具を事前に購入する必要があります。

手順:

1. 壁掛け金具を取り付ける壁面に、直径 10mm のネジ穴を開けます。
2. 4 本の M6 拡張ボルトを使用して壁掛け金具を壁に固定します。

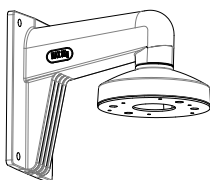


Figure 2-29 壁掛け金具の固定

3. カメラを反時計回りに回転させてトリムリングを外します。

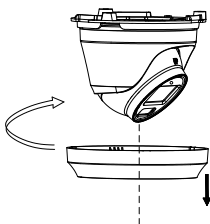


Figure 2-30 トリムリングの取り外し

4. 3本のPM4×10ネジを使用して、取り付けプレートを壁掛け金具に固定します。

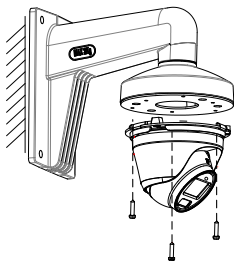


Figure 2-31 取付プレートの固定

5. 2.3.6 ジャンクションボックスなしの天井取り付けを参照して、取り付けを完了してください。

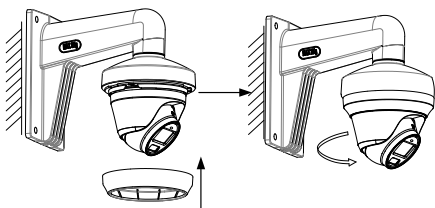


Figure 2-32 取り付け完了

2.4.3 ジャンクションボックス付き壁取り付け

開始前に:

- 事前にジャンクションボックスを購入する必要があります。
- 天井取り付け (ジャンクションボックス使用) は、傾斜天井用マウントを使用した天井取り付けと類似しています。以下の手順はジャンクションボックスを例として説明します。

手順:

1. カメラを反時計回りに回転させてトリムリングを取り外します。

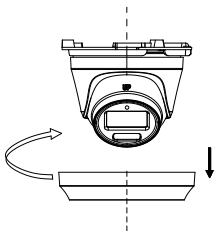
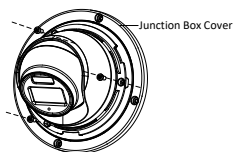


Figure 2-33 トリムリングの取り外し

2. 設置位置にジャンクションボックス用ドリルテンプレートを貼り付けます。
3. ジャンクションボックスを分解します。ターレットをジャンクションボックスカバーに3～4本のPA4×10ネジで固定します。



4. ジャンクションボックス本体を壁に固定します。
PA4×25 ネジ 4 本を使用します。

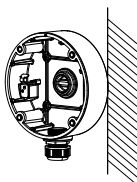


Figure 2-34 壁へのジャンクションボックスの固定

5. ケーブルをジャンクションボックスの底面ケーブル穴または側面ケーブル穴に通します。
6. 4 本の PA4 × 25 ネジでジャンクションボックスカバーをジャンクションボックス本体に固定します。角度を調整して取り付けを完了するには、2.4.1 天井取り付け のステップ 4 から 6 を参照してください。

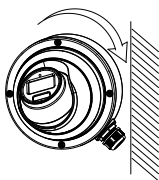


Figure 2-35 設置完了

3 防水対策

カメラを屋外に設置する場合は、防水テープを使用してケーブルを防水してください。そうしないと、ケーブルが濡れたり、短絡が発生したりする可能性があります。

注意:

防水テープは別途購入する必要があります。

ケーブルの配線と接続が完了したら、防水テープでケーブルを巻き付けます。接続済みケーブルと予備ケーブルの両方を、下図のように巻き付けてください。

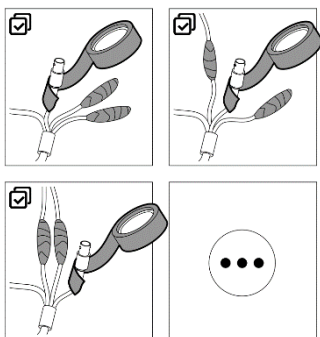


Figure 3-1 防水ケーブル

4 メニュー説明

メニューを呼び出すには、以下の手順に従ってください。

注:
実際の表示はカメラモデルによって異なる場合があります。

手順:

1. 図 3-1 に示すように、カメラを TVI DVR とモニターに接続してください。

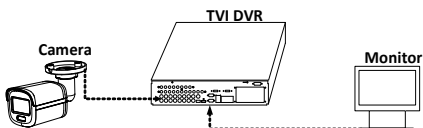


Figure 4-1 接続

2. カメラ、TVI DVR、モニターの電源を入れ、モニターに映像を表示します。
3. PTZコントロールをクリックしてPTZコントロール画面に入ります。
4. ボタンをクリックするかプリセット番号 95 を呼び出してカメラメニューを表示します。

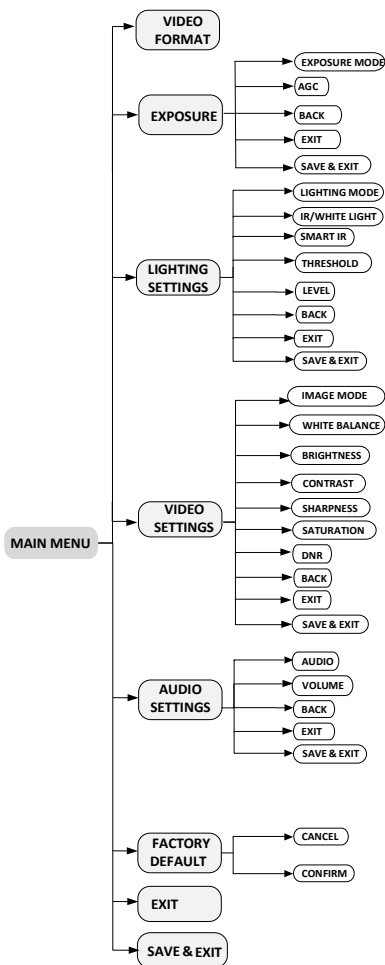


Figure 4-2 メインメニューの概要

5. 方向ボタンをクリックしてカメラを制御します。
 - 1). 上下方向ボタンをクリックしてメニューオプションを選択します。
 - 2). 選択を確定するには、アイリス+をクリックします。
 - 3). 左右方向ボタンをクリックして、選択したオプションの値を調整します。

4.2 ビデオフォーマット

ビデオフォーマットは以下の通りです。

ビデオ出力	ビデオフォーマット	対応モデル
TVI	3K@20fps 4MP@25fps 4MP@30fps	3K モデル
	2MP@25fps 2MP@30fps	全モデル
AHD	5MP@20fps 4MP@25fps 4MP@30fps	3K モデル

	2MP@25fps 2MP@30fps	2MP モデル
CVI	4MP@25fps 4MP@30fps	3K モデル
	2MP@25fps 2MP@30fps	2MP モデル
CVBS	PAL NTSC	全モデル

4.3 露出

露出モード

露出モードは、**GLOBAL**、**BLC**、**HLC**、**DWDR** に設定できます。

- **グローバル**

GLOBAL は、照明の分布、変動、および非標準的な処理を調整する通常の露出モードを指します。

- **BLC（逆光補正）**

BLC（逆光補正） は、前景の被写体を鮮明にするために光を補正しますが、これにより、光が強い背景が露出オーバーになる場合があります。

- **HLC（ハイライト補正）**

HLC はハイライト補正を意味します。カメラは強いスポット（画像の露出オーバー部分）を検出し、強いスポットの明るさを低減して画像全体を改善します。

- **DWDR（デジタルワイドダイナミックレンジ）**

デジタルワイドダイナミックレンジは、カメラが画像内の暗い領域だけでなく、極端に明るい部分や高コントラスト領域も捉える能力を提供します。

AGC（自動ゲイン制御）

暗い環境下での画像の鮮明度を最適化します。**AGC** レベルは **HIGH（高）**、**MEDIUM（中）**、**LOW（低）** に設定可能です。

注:

AGC レベルを設定するとノイズが増幅されます。

4.4 照明設定

照明モード

IR（赤外線） と **WHITE LIGHT（白色光）** が利用可能です。

➤ **IR**

- **IR ライト**

IR ライト は、状況に応じてオン/オフを切り替えることができます。

- **スマート IR**

スマート IR 機能は、光を最適な強度まで調整し、画像の露出オーバーを防ぐために使用されます。

- **D→N Threshold (昼から夜のしきい値)**

昼夜閾値は、昼モードから夜モードへの切り替え感度を制御します。値は 1 から 9 まで設定可能です。値が大きいほどカメラの感度が高くなります。

- **N→D Threshold (夜間から昼間の切り替え閾値)**

夜から昼への閾値は、夜間モードから昼間モードへの切り替え感度を制御するために使用されます。値は 1 から 9 まで設定可能です。値が大きいほど、カメラの感度が高くなります。

➤ **WHITE LIGHT**

ホワイトライトサブメニューでは、モードを **OFF** または **AUTO** に設定できます。

- **OFF**

この機能を無効にするには、**OFF** に設定します。

- **AUTO**

このセクションでは、**閾値 (THRESHOLD)** と **レベル (LEVEL)** を設定できます。

閾値

しきい値が高いほど、デバイスは暗い環境に敏感になります。

LEVEL

補助光の最大輝度を調整できます。

4.5 ビデオ設定

カーソルを「**ビデオ設定**」に移動し、「**Iris+**」をクリックしてサブメニューに入ります。**画像モード**、**ホワイトバランス**、**明るさ**、**コントラスト**、**シャープネス**、**彩度**、**DNR** を調整できます。

VIDEO SETTINGS	
IMAGE MODE	◀ STD ▶
WHITE BALANCE	└┘
BRIGHTNESS	◀ 5 ▶
CONTRAST	◀ 5 ▶
SHARPNESS	◀ 5 ▶
SATURATION	◀ 5 ▶
DNR	◀ 5 ▶
BACK	└┘
EXIT	└┘
SAVE & EXIT	└┘

Figure 4-3 ビデオ設定

画像モード

IMAGE MODE は、画像の彩度を調整するために使用され、**STD** (標準)、**HIGH-SAT** (高彩度)、または **HIGHLIGHT** (屋内での顔のディテールをより鮮明に) に設定できます。

ホワイトバランス

ホワイトバランスは、カメラの白色再現機能であり、環境に応じて色温度を調整します。これにより、画像内の不自然な色かぶりを取り除くことができます。**ホワイトバランスモード**は、**AUTO** (自動) または **MANUAL** (手動) に設定できます。

● MANUAL

R-GAIN/B-GAIN 値を設定することで、画像の赤/青の色調を調整できます。

WHITE BALANCE	
MODE	◀ MANUAL ▶
R-GAIN	◀ 5 ▶
B-GAIN	◀ 5 ▶
BACK	└┘
EXIT	└┘
SAVE&EXIT	└┘

Figure 4-4 ホワイトバランス

明るさ

明るさとは画像の明暗を指します。明るさ値を 1～9 で設定し、画像を暗くしたり明るくしたりできます。値が大きいほど画像は明るくなります。

コントラスト

この機能は、画像の各部分間の色と光の差を強調します。

シャープネス

シャープネスは、画像システムが再現できる細部の量を決定します。

彩度

彩度は、総体的な色彩感覚における純粋な色相の割合です。この機能を調整して色の彩度を変更します。

DNR

DNR はデジタルノイズリダクションを指します。この機能はビデオストリーム内のノイズを低減します。

4.6 オーディオ設定

AUTO SETTINGS サブメニューでは、モードを **ON** または **OFF** に設定できます。音量を上げるには **VOLUME** を高い値に調整してください。

4.7 工場出荷時設定

ビデオフォーマットを除く全ての設定を工場出荷時のデフォルト値にリセットします。

4.8 EXIT

カーソルを「**終了**」に移動し、アイリス+をクリックしてメニューを終了します。

4.9 SAVE & EXIT

カーソルを「**SAVE & EXIT**」に移動し、アイリス+ をクリックして設定を保存し、メニューを終了します。